

償金に差があることについて。

答 整備してから10年以上が経過していることから、国土交通省の補償金算定基準により償却資産として減耗されるため、その分は補償金が減額されることになる。

意見 今後も十分に相手方と協議を行い、適正な移転補償金とするよう努めていただきたい。

厚生文教委員会

委員長 二宮 淳

◆廃校施設管理事業について

問 施設の除却基準について。

答 各校区で利活用の検討結果、利活用の計画がなく、耐震性のない施設を優先して除却したいと考えております。その事業期間については、財源となる合併特例債が活用できる平成31年度までの3年間で考えている。

また、本事業の基本的な考え方としては、校舎やプールなどの体育館以外の建物、利用しない遊具については解体、撤去を行う。体育館への電気、水道設備については、必要な工事を行う。樹木については、撤去または移植を行う。「これらについては、地域の意向を確認した上で行っている」と考えている。



除却が予定されているアリス林小学校校舎

◆大洲市病院事業会計決算について
問 平成28年度決算における純損失額が、平成27年度決算より約1億円増えていることについて、その要因は。また、今後、経営改善に向けてどのように取り組んでいくのか。

答 国の医療費抑制策に伴う診療報酬のマイナス改定があったこと、薬の長期処方、平均在院日数の短縮化、及び近年における圏域内の他病院の改修、建て替えなどにより患者数が減少したこと、さらに地域包括ケア病棟での効果的なベッドコントロールがまだ十分に発揮されていないことなどが要因であると考えている。

今後については、DPC制度対象病院への移行も現在検討しているところであり、本年3月に策定した市立大洲病院新改革プランの着実な推進により経営改善を図るとともに、一層の患者サービスに努め、医療の充実と健全経営に最大限努力していく。

意見 病院事業については、地域医療の確保、質の高い医療の提供が使命となっているが、それは健全な経営の上に成り立つものであり、赤字解消に向けた取り組みを着実に進めていただきたい。

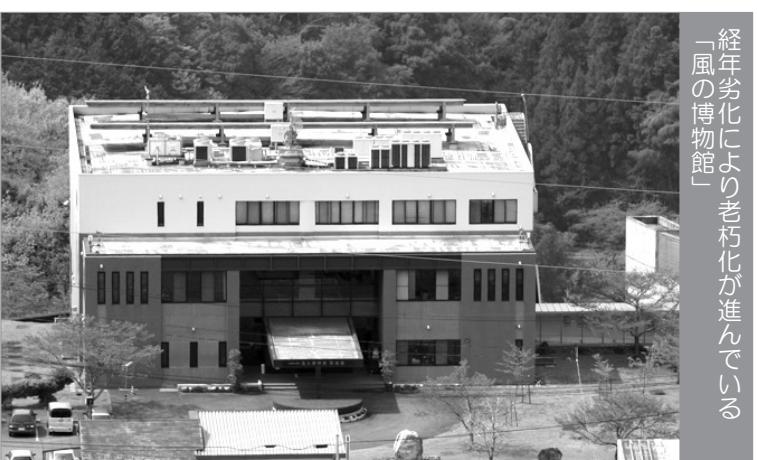
問 跡地利用が決まっていない学校が何校あるのか。
答 地区行事等の一時的な利用を行う以外は利用計画がないという回答を6つの校区からいただいている。

産業建設委員会

委員長 武田 雅司

◆風の博物館空調機修繕工事について

問 現在の状況について。



答 現在、暑いなか来館していただく方への配慮と展示品への悪影響を避けるために、エントランスホール及び事務室用に指定管理施設管理経費により室外機を1台ずつ設置し対応しているところである。故障時から改善はされているが、十分ではないことから、新たに3台設置することにより、室内環境の改善が図れるものと考えている。

意見 来館者が快適に過ごしていただけるよう、適切な温度管理に努めさせていただきたい。

経年劣化により老朽化が進んでいる
「風の博物館」